

『参考1』

第2回物部川地域アクションプランフォローアップ会議資料  
平成24年2月3日

地域アクションプラン進捗管理シート 総括表  
《物部川地域：第3四半期》

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<物部川地域>

| 項目名及び事業概要   | 主な課題  | インプット(投入)<br>〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉   |
|---|---|---|
| <p><b>1. 南国市の園芸主幹品目の振興</b></p> <p>◆コスト上昇分をいかにカバーして、農家の維持、農業所得の向上や産地維持を図っていくか、南国市地域園芸戦略推進会議を核として、品目毎の生産・流通・販売上の課題解決に取り組む。</p>  | <p>◆生産上の対策<br/>・増収技術の習得<br/>・病害虫防除技術の習得<br/>・経費節減対策の実施<br/>◆流通・販売上の対策<br/>・消費宣伝活動の実践<br/>・市場、仲卸との信頼関係強化</p> | <p>・営農改善会での計画周知検討(7回)<br/>・シントウの現地検討会、栽培講習会などの開催(14回)<br/>・シントウの3JA合同の品質向上巡回指導等(1回)<br/>・オクラ現地検討会、栽培講習会の開催(3回)<br/>・腐敗防止対策巡回(2回)<br/>・シントウ省エネ技術推進に対する検討会等(10回)<br/>・木質バイオマス実行支援チーム会議(3回)<br/>・有望品目検討会など(10回)<br/>・こうち農業確立支援事業補助金決定(ジュース加工用温度殺菌記録計 J A十市909.3千円)<br/>・有望品目産地づくりモデル事業費補助金申請(葉ニンニク JA南国市 2,199千円)<br/>・レンタルハウス事業によるハウス等の導入(JA南国市:シントウ(省エネ)事業費504千円、JA十市:シントウ(高度化)・ショウガ2(高度化、新規就農)事業費26,999千円)。</p> |
| <p><b>2. 香南市・香美市の基幹園芸品目の販売力向上対策</b></p> <p>香南市・香美市には、エメラルドメロンや山北ミカン、やっこネギなど高知県を代表するような園芸品目がある。こうした品目について、生産体制の強化とあわせて、ブランド化を含めた新たな販売戦略を構築し、県内外の市場における知名度と販売力の向上を図る。</p> <p>◆生産性強化の対策<br/>・新技術の積極的な導入<br/>・環境保全型農業技術の導入<br/>◆知名度・販売力の向上対策<br/>・商品規格やパッケージの改善<br/>・新たな市場の開拓<br/>・ブランド化への支援</p>  | <p>◆生産性強化の対策<br/>・新技術の導入促進<br/>◆知名度・販売力の向上対策<br/>・関東方面での販促対策、知名度向上に向けた取組<br/>・新規市場の開拓<br/>・流通体制の見直し</p>     | <p>◆産業振興推進総合支援事業<br/>事業費 13,459千円(県補助金 8,972千円)<br/>◆エメラルドメロン試食宣伝1回(6/8~12)<br/><br/>◆エメラルドメロン商談会1回(6/11)<br/><br/>◆高品質果実生産モデル事業の導入推進(4~5月)<br/>◆エメラルドメロン試食宣伝活動の実施(7/2,3)<br/><br/>◆エメラルドメロン商談会1回(9/21)<br/><br/>◆エメラルドメロン試食宣伝活動の実施(11/12,13・11/19・12/3,4)<br/>◆エメラルドメロン産地交流会の実施(10/25, 26・11/9)</p>  |
| <p><b>3. 香南市・香美市の基幹園芸品目の産地力強化</b></p> <p>JA土佐香美管内の園芸品目は、県下最大の産地であるニラの他、ピーマン、大葉、キュウリなど様々な品目が産地を形成している。こうした状況の中で、農業所得の向上や産地の維持・拡大を図るためには、それぞれの品目で産地ぐるみでまとりをもって、環境保全型農業技術や新技術の導入に取り組むとともに選果場の機能強化など、産地力の向上に向けた取り組みを総合的に進める。また、食の安全・安心への取り組みとあわせて、「人と環境に優しい園芸産地」としての土佐香美ブランドを構築し、市場での有利販売に取り組む。</p> <p>◆生産上の対策<br/>・環境保全型農業技術の導入<br/>・降温資材や新品種の導入<br/>・木質ペレットボイラーやヒートポンプなど省エネ技術の導入<br/>◆流通・販売上の対策<br/>・トレスナビリティシステムの導入<br/>・クロージャーやバーシャル包装など特色ある流通形態の検討</p> | <p>◆総合的な産地力の向上<br/>・環境保全型農業技術の導入促進<br/><br/>◆土佐香美の園芸品目のイメージアップ<br/>・トレスナビリティシステム構築への取組</p>                  | <p>◆環境保全型農業推進事業導入推進(4~5月)<br/>・エコシステム説明会の開催(3回)<br/><br/>◆農畜産業機械等リース支援事業説明会(5/11)<br/><br/>◆ニラ小袋包装インクジェットプリンターの導入(独自 11,890千円 9台)</p>   |
| <p><b>4. 産地地消・食育の推進</b></p> <p>◆これまで先進的な活動を行ってきたが、学校給食への野菜の供給割合は5.5%に留まっており、産地地消のさらなる推進のため、組織の連携強化等を図っていく。</p>  | <p>◆学校給食への供給量の増加<br/>◆業務筋への事業の拡大<br/>◆受注から配送までを一元的に管理していく仕組みづくり<br/>◆国費事業(雇用対策事業)終了後の体制づくり</p>              | <p>◆ふるさと雇用再生特別基金事業での配送員の雇用2名(H23:5,453千円)<br/><br/>◆過年度の学校給食献立の食材及び使用量等の分析<br/><br/>◆農業生産法人実証組織(地域雇用創造実現事業)による実証栽培</p>  |
| <p><b>5. 生産者と消費者をつなぐ場づくり~まずは農家レストラン~</b></p> <p>◆産地地消、安全安心への関心の高まりを背景に、地域の豊富な食材を活かし、生産者と消費者をつなぐ仕組みとして「農家レストラン」を立ち上げ、農業、商工業、観光の活性化を図る。</p>   | <p>・長く続けるための、運営改善(時間短縮、営業方式等)<br/><br/>・新メンバーの確保<br/><br/>・調理技術の研修等</p>                                     | <p>◆道の駅南国 カフェレスト風良里の定休日である火曜日を借り上げて週1回、5グループ(55名)が輪番で運営<br/>◆本年度アンケートの設問を修正<br/>◆業務改善会(チーム会)実施 29回<br/>◆チーム会で整理した課題を役員会で検討 7回</p>   |

| アウトプット(結果)<br>〈インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと〉  | アウトカム(成果)<br>〈アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと〉   | 目標(H23)  |
|---|--|--|
| <p>・オクラ腐敗対策の取り組みを継続することにより、23園芸年度の腐敗事故の報告は6件であった(前年度7件)。</p> <p>・オクラの「エコシステム栽培」はJA長岡は申請済み、JA南国市は前向きに取り組むことが部会で決定された。</p> <p>・シントウの省エネ対策については、多重被覆や谷部の被覆により徹底した保温性の向上を推進した。また、レンタルハウス事業を活用し3重被覆(10a)の導入が進んだ。</p> <p>・実証(ほ設置により省エネ温水温風暖房機やヒートポンプなど省エネ効果等の検証を開始した。</p> <p>・有望品目産地づくりモデル事業費補助金により、葉ニンニク栽培農家が3戸(総農家数28戸)、面積0.4ha(栽培面積1.6ha)増加した。</p>   | <p>・H23園芸年度販売額(前年比)</p> <p>シントウ 10.4億円(△12%)</p> <p>ニラ 4.2億円(△12%)</p> <p>オクラ 1.2億円(+9%)</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p> <p>・化石燃料代替技術の導入促進(木質ペレットボイラー5台新規導入(導入累計11台))</p>                  | <p>シントウ販売額 13.4億円</p> <p>ニラ販売額 4.0億円</p> <p>オクラ販売額 1.8億円</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p>   |
| <p>◆日射比例かん水制御システム導入10,693千円、販促活動2,766千円</p> <p>◆伊勢丹新宿店「テア・アップ・ニッポン 6/8～12」へ参画し、試食宣伝の実施。</p> <p>◆7月のお中元へ向けた試食宣伝についてメロン部会営業担当、東京青果及び伊勢丹バイヤーの三者で商談会を開催(6/11)。7月に百貨店4店舗にて開催することで決定された。</p> <p>◆露地みかん部生産者6戸・189a分を申請</p> <p>◆都内百貨店、スーパー4店舗において、日本フルーツアートクリエイター協会とタイアップし、新しい形の試食宣伝「見せて・食べさせて・売る」活動を行い、市場や業務関係者から好評を得た。また、消費者に対するアピール度も高かった。</p> <p>◆11月のお歳暮商戦へ向けた試食宣伝および販売促進についてメロン部会三役、JA担当が東京青果、シティ青果と商談会を開催(9/21)。11月に百貨店(伊勢丹、東急)にて開催することで決定された。</p> <p>◆伊勢丹4店舗、東急4店舗、東武スーパー1店舗で試食宣伝を実施。フルーツ専門店2店舗と取引の開始。</p> <p>◆産地交流会を伊勢丹バイヤー、東京青果企画担当者の2名とフルーツアートクリエイター協会員8名との産地交流会を実施し、栽培実態や産地紹介、今後の計画等について懇談。</p> <p>◆H23園芸年度販売額 エメラルドメロン4.4億円(前年対比95%)、フルーツマト2.6億円(同100%)、ねぎ類14.7億円(同91%)、温室みかん10.5億円(同101%)</p> | <p>◆エメラルドメロンの昨年度における関東への出荷は東京青果一社で、百貨店、高級スーパーにおける販売は伊勢丹新宿本店と東急六本木店のみであったが、試食宣伝ができる店舗が伊勢丹4店舗、東急5店舗に拡大。また、本年3月から東京シティ青果への出荷を開始したことで、試食宣伝が東武スーパー1店舗で実施でき、取引がなかったフルーツ専門店が2店舗確保できた。</p> | <p>◆JA土佐香美における基幹園芸品目の販売額向上</p> <p>・エメラルドメロン……5.0億円</p> <p>・フルーツマト……2.7億円</p> <p>・ねぎ類……18.0億円</p> <p>・ミカン……24.0億円</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p> |
| <p>◆ナス部会、ピーマン部会、トマト部会、他2部会の計5団体(受益農家125戸)が申請予定。</p> <p>◆(3重被覆：ハウスミカン1戸、水晶文目1戸 循環扇：ハウスミカン1戸)。</p> <p>・新暖房設備はすべて補助事業の対象にならなかった。</p> <p>◆包装フィルムへ包装機番号、出荷日、時間を暗号表記し、迅速な事故対応への取り組みを実施(3月：5台導入、5月：4台導入)。</p> <p>◆H23園芸年度販売額 ニラ28.7億円(前年対比106%)、ナス2.6億円(同94%)、ピーマン1.8億円(同82%)、トルコギキョウ1.0億円(同100%)</p>  |  | <p>◆JA土佐香美における主要園芸品目の販売額向上</p> <p>・ニラ ……28.0億円</p> <p>・ナス ……2.8億円</p> <p>・ピーマン ……2.0億円</p> <p>・トルコギキョウ ……2.0億円</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p>   |
| <p>◆配送システムにより南国市内の小学校全校(13校)に食材(野菜・果物)を定期的に配送</p> <p>学校給食への配送実績農産物 24品目 計5,875Kg(11月末現在)</p> <p>◆配送システムによる業務筋への供給 8事業体</p> <p>◆配送システムによる施設への供給</p> <p>清風園、1897.1kg・327,190円(8～12月)</p> <p>◆農業生産法人実証組織が生産した野菜を納入。全小学校、業務筋に配達：玉ねぎ、キャベツ、ねぎ、レタス、ジャガイモ(11月末時点)</p> <p>8事業所：5品目 1,556Kg 学校給食：4品目 657Kg</p>  | <p>◆学校給食への供給割合 14.9%(11月末)</p> <p>※生産法人実証組織提供の無料の農産物を売価想定して計算</p>  | <p>・学校給食における地元野菜の供給割合 11%</p> <p>・業務筋への供給 8事業体</p>   |
| <p>◆農家レストラン まほろび畑の開店日数 33日(3/29～12/27)</p> <p>◆3/29～11/29のアンケート回収率 平均36.6%</p>  | <p>◆3/29/12/20の来店者数 平均185人</p> <p>◆10/25～11/29アンケート(最終回)による、スタッフに対する満足度の測定平均…「笑顔4.17、身だしなみ4.15、対応4.05、全体的な満足度4.31」(目標値：平均4点以上)</p> <p>◆道の駅南国の1階売店及び観光案内等が定休日を廃止し、4月から火曜日も営業開始</p>  | <p>・(南国市版)農家レストランの立ち上げ 1か所</p> <p>・隣接直販店の売上額 5%アップ(H20年度比)</p>   |

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<物部川地域>

| 項目名及び事業概要   | 主な課題  | インプット(投入)<br>〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉   |
|---|---|---|
| <p><b>6. 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～</b></p> <p>◆農商工の連携を強化するとともに、農産物の新たな生産・地域内への供給体制を整備し、加工を通じた特産品づくりを促進する。</p>  | <p>◆零細な企業・グループ・個人が多く、特産品づくりに意欲のある者は限定的である。しかし、今後の特産品づくりを進展させるためにも、今芽のでているものを成果につなげ、特産品づくりの意欲を拡大させていく必要がある。</p> <p>◆実現チームを24年度より農業生産法人にスムーズに移行させるために、3JAや関係機関・団体との綿密な協議とコンセンサスにより具体的に進めていく必要がある。</p>   | <p>◆地域雇用創造推進事業によるセミナー開催(農業生産技術研修、農業経営体組織化研修ほか12月末時点で19回)</p> <p>◆ふるさと雇用再生事業による企画コーディネーター育成の継続</p> <p>◆モニター実施</p> <p>◆空港テナント「空の駅」実証の継続(9,998千円:市単補助)</p> <p>◆農業生産法人実証組織(地域雇用創造実現事業)による実証栽培</p>   |
| <p><b>7. 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組み</b></p> <p>・大河ドラマ「龍馬伝」を契機に再燃する龍馬ブームを好機と捉え、豊富な園芸野菜を使った「ご当地グルメ」として、龍馬に関する逸話や先達地の歴史的背景を活用した「シャモ鍋」を新たに創出し、「地産」消しによる交流人口拡大を図るとともに効果的なメディア露出などによる情報発信を強化する。</p> <p>・また、シャモの飼育・ブランド化を通じて休耕地を活用した養鶏や飼料米栽培、さらには葉物野菜の出荷残渣の飼料化や鶏糞の土壌還元等の可能性を検討し、主に中山間地域での新たな農業手法を検討する。</p> <p>・流通の少ないシャモ肉は少数生産であっても高級食材として取引されるため、飼育環境のトレーサビリティ等による高付加価値化を図り、「ブランド鶏肉」としての外商戦略を展開していく。</p> | <p>◆ごめんシャモ研究会メンバーはそれぞれが本業を抱えており、業務多忙時期に活動が停滞する懸念がある。<br/>⇒メンバーを飼育生産部門と広報販売部門に分け、部門毎に随時進捗させていくことを確認済み</p> <p>◆特に生産飼育部門には専門的見地からの助言・アドバイスが必要であり、県(畜産サイド)及び市(農林課)の支援は不可欠</p>   | <p>◆ふるさと雇用再生特別事業(8,982千円:H22～H23)による「シャモを突破口とした中心市街地賑わい創出推進員」の雇用[継続]</p> <p>◆ステップアップ補助金導入(事業費2,000千円、うち県費1,000千円、市費500千円)</p> <p>◆ごめんケンカシャモ飼育事業費補助金(補助額 市費1,000千円)</p> <p>◆ごめんシャモ研究会に飼育生産と広報販売の部門担当者を設置</p> <p>◆ごめんシャモ研究会の事業推進会議(定例会)の頻度を月1回⇒毎週に変更</p> <p>◆シャモ飼育農家 4戸</p>   |
| <p><b>8. 大学生による地域応援団(サポーター)づくり</b></p> <p>地域内に大学が立地することから、在学中に地域資源(農産品・地場産品)に親しみ、地域の良さを学んでもらい、卒業後も“第二の故郷”として全国各地から物部川流域をサポートする『地域応援団(サポーター)』になってもらえる仕組みをつくる。</p> <p>◆在学中の関わりづくり<br/>◆卒業後のフォローアップ<br/>◆支援組織(ネットワーク)の形成</p>   | <p>◆大学(学生)の支援体制の確立<br/>◆地域の受け入れ態勢の確立<br/>◆支援組織(ネットワーク)の育成</p>   | <p>・地域づくり支援課にて、重点分野雇用創造ふるさとインターンシップ事業(20,156,000円)をNPO法人「人と地域の研究所」に委託</p> <p>・高知工科大にフィールドワークの場として、物部町野久保地区を提案</p>   |
| <p><b>9. 農産物加工等への取組計画</b></p> <p>ミカン等柑橘類、ニラ、羊、チャマメ、ショウガ、はなゆ、ブルーベリー、ナス、どろめなど、地域特産の農産物等の加工を通じて付加価値を高め、地域の農業者、事業者等の所得の向上を図る。</p> <p>◆特産品研究会の立上げ<br/>◆地域ブランド商品の製造、流通、販売</p>   | <p>◆地域特産の農産物等の加工を通じて付加価値を高め商品化を行うために必要な取り組み事項</p> <p>○事業の運営体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カタログ運営体制の強化</li> <li>・インターネット販売体制の確立</li> <li>・イベント活動(宣伝・販売)体制の確立</li> <li>・商品開発(自社)体制の確立</li> </ul> <p>◆原材料調達システムの構築<br/>◆販売戦略の確立<br/>◆顧客開拓による顧客リストの整備<br/>◆香南市地域ブランドの確立に向けた体制整備</p>   | <p>◆産業振興アドバイザー制度 採択(4/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーによる講演会開催</li> <li>◆まるごと旨市カタログ</li> <li>・まるごと旨市カタログ検討委員会(4回)</li> <li>・インターネット販売システム(ECサイト)の構築</li> </ul> <p>◆商品開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「にら塩焼そば」イベントへの出店(25回)</li> <li>・香南市土産となる新商品開発に着手</li> </ul>  |
| <p><b>10. 高齢農家とともに支える農業の仕組みづくりと集落の活性化</b></p> <p>谷相集落をモデル集落とし、高齢者とともに農業で生活できる地域づくりに取り組み、将来にわたって中山間地域の集落で生活できる「こうち型集落営農」の実現を目指す。</p> <p>◆集落営農の推進<br/>◆農作業受委託の推進<br/>◆売れる米作りの推進と有利販売<br/>◆園芸品目の導入と普及推進<br/>◆交流活動の推進</p>   | <p>《目標:H23》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆集落営農の活動強化<br/>自主的な組織活動ができる。</li> <li>◆農作業受委託の推進<br/>水稲受託面積:16ha以上</li> <li>◆売れる米づくり<br/>交流会で谷相米の販売ができる。</li> <li>◆園芸品目の導入と普及推進<br/>青ネギ:秀品率45%以上、栽培面積のべ10a<br/>ニラ:収量6.5t以上の農家戸数3戸以上<br/>アジサイ:栽培面積10a、定植戸数5戸以上<br/>直販向け品目:重点指導農家平均販売金額23万円以上、計画に基づいた栽培ができるようになる。</li> <li>◆交流活動の推進<br/>自主的な組織活動ができる。</li> </ul> | <p>◆集落営農の活動強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷相地区集落営農組合役員会の開催 4回、巡回 適宜</li> <li>・籾搬送機、苗振り取り機の導入・利用(集落営農・拠点ビジネス支援事業 9月下旬)</li> </ul> <p>◆農作業受委託の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーター部会の開催 3回</li> </ul> <p>◆売れる米づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水稲栽培研究会の開催 5回 ・水稲 個別巡回 4回</li> </ul> <p>◆園芸品目の導入と普及推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジサイ 個別巡回3回、販売実績確認</li> <li>・青ネギ 個別巡回8回(作付計画・定植・管理・出荷指導)</li> <li>・ニラ 個別巡回6回(栽培・育苗指導)、は種実演会1回</li> <li>・直販部会(共同作業等)の開催 11回</li> </ul> <p>◆交流活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会の準備、実施、反省(交流専門委員会等6回)</li> </ul> <p>◇関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市農政部会での活動報告 9回</li> <li>・担当者打合せ(補助事業導入後の指導) 適宜</li> </ul> |

| アウトプット(結果)<br>〈インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと〉  | アウトカム(成果)<br>〈アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと〉   | 目標(H23)  |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域雇用創造推進事業による農業関係セミナー受講者(延べ848名、H23年12月末時点)</li> <li>◆モニター実施<br/>シャモ鍋モニター(35人)、レトルト・トマトカレーモニター(314人)</li> <li>◆農業生産法人実証組織の農業生産品目数(12月末時点):ジャガイモ、青ネギ(20a)、キャベツ、タマネギ、にんじん、レタス、ブルーベリーの7品目</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画コーディネーター又は空の駅推進協議会によるコーディネートでフレッシュアップまたは新規に商品開発され、市販を開始した商品数:4品目(レトルト・トマトカレー(西島園芸団地)、孟宗竹の土佐煮、四方竹の土佐煮(空の駅推進協議会)、びわりキュニル「びわりの種酒」(稲生びわ研究会)) [H21年度からの累計32品目]</li> <li>◆農業生産法人実証組織(実現事業)の農産物(無料)提供団体数累計:17事業体及び学校給食</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域産品を使用した加工食品の商品化 20品目</li> <li>◆コーディネート機能を通じての流通開始事例 10品目</li> <li>◆アンテナショップの立ち上げ 1件</li> <li>◆JA出資型農業生産法人の設立 1法人</li> <li>◆生産法人の中食・外食産業等への食材提供 8事業体及び学校給食</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ごめんシャモ研究会の事務所開設(ごめん町商店街:4/1)</li> <li>◆土佐の食1グランプリin長宗我部フェスにシャモ鍋出店(5/21)</li> <li>◆土佐の豊穡祭に出店(10/2)</li> <li>◆つらゆき祭りシャモ料理フェアの開催(11/3)</li> <li>◆シャモ鍋社中スタンラリー開催(11/3~3/31)</li> <li>◆シャモ飼育羽数 2288羽(12月末時点)</li> <li>◆シャモ精肉 825羽(12月末時点)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「ごめんシャモ鍋社中」加盟店舗数 15店舗</li> <li>◆シャモ肉販売(12月末時点)<br/>約1295.9kg=約720羽分(1羽1.8kgで計算)<br/>(内、約218.6kgは22年度の繰り越し分の肉)</li> <li>◆つらゆき祭りシャモ料理フェア(11/3)来場者数 1,000人超</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「ごめんシャモ鍋社中」加盟店舗数(南国市でのシャモ鍋提供店舗数) 10店舗</li> <li>◆社中でのシャモ鍋以外のオリジナルメニュー提供数 1品/1店舗以上</li> <li>◆シャモ目標飼育羽数 2,000羽</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ふるさとインターンシップの説明会を4回実施(高知大3回、高知県立大1回)</li> <li>◆ふるさとインターンシップの実施 参加者数5名(県内2名、県外3名)</li> <li>◆高知工科大のフィールドワークとして、「ゆず狩り体験イベント」を実施し、運営スタッフとして、9名の学生が参加</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆説明会への参加人数:約75名(高知大55名、高知県立大20名)</li> <li>◆受入先の公文農園は、学生を受け入れることのメリットを強く感じ始めており、次回の受け入れにも意欲を示している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆支援組織数:1組織</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆産業振興アドバイザー講演会参加者65名</li> <li>◆まるごと旨市カタログ<br/>・中元カタログの完成 2万部(H23.6.1)</li> <li>◆インターネット販売システム(ECサイト)の運用開始(H23.7.1~)</li> <li>◆中元カタログ試食イベント開催(H23.6.26)</li> <li>◆お歳暮カタログの完成 2万部(H23.10.13)</li> <li>◆商品開発・販売促進<br/>・土佐の食1グランプリ:3位獲得</li> <li>◆試作品の完成(3品)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆香南市の特産品である「にら」を使った「にら塩焼そば」の販売促進活動を行い、認知度が向上している。</li> <li>◆「にら塩焼そば」の販売店舗数の増加(H23年4月3店舗→12月末現在11店舗)</li> <li>◆カタログ販売<br/>・中元カタログ販売額170万円(H22歳暮販売額の159%)</li> <li>◆歳暮カタログ販売額220万円(H22歳暮販売額の206%)</li> <li>◆顧客リストを作成し、営業ツールとして活用している</li> <li>◆カタログ参加事業者数の増加(H22歳暮17事業者→H23中元20事業者→H23歳暮29事業者)</li> <li>◆中元インターネット販売件数11件、インターネット販売額7万円</li> <li>◆歳暮インターネット販売件数33件、インターネット販売額20万円</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開発加工製品サンプル数 10品目</li> <li>◆商品化製品数 10品目</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆集落営農の活動強化<br/>・自主的な活動ができるようになってきた。</li> <li>◆農作業受委託の推進<br/>・改善計画の作成、組合員へのPRにより、目標を達成(18.6ha)。</li> <li>◆売れる米づくり<br/>・谷相米シール貼付による販売開始。</li> <li>◆園芸品目の導入と普及推進<br/>・アジサイ 初出荷2戸、1,245本、販売金額38千円。(7a定植 6戸)</li> <li>・青ネギ 苗を確保し定植し(1戸 2a)、12月にJA出荷。</li> <li>・ニラ 省力化への関心が高まった(露地用苗のは種2戸実践)。収量6.5t/10a以上が4戸になった。</li> <li>・直販部会 タマネギの共同育苗に初めて取り組み、部会員等に供給できた。</li> <li>◆交流活動の推進<br/>・新たな体験メニューが追加(竹の風ぐるま、こんにやくづくり)</li> <li>・1ター講師の参画(3名)</li> <li>・集落外参加者27名との交流ができた。</li> <li>◇関係機関との連携<br/>・情報共有ができ、連携して支援ができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆集落営農の活動強化<br/>・計画等の検討にあたり、自ら提案するようになってきた。</li> <li>◆売れる米づくり<br/>・環境にやさしい農業の取り組みが拡大できた。</li> <li>・谷相米のPR・販売を通じて、品質・食味向上への意識が高まった。</li> <li>◆園芸品目の導入と普及推進<br/>・アジサイ アジサイを初出荷し、生産意欲が向上した。</li> <li>・青ネギ 生産意欲が向上し、次作の準備を進めている。</li> <li>・ニラ 省力化に向けた取り組みが進んだ。</li> <li>・直販部会 作業の段取りを自らできるようになってきた。主要3品目(タマネギ、ジャガイモ、ニンジン)の安定出荷に向けた取り組みができた。</li> <li>◆交流活動の推進<br/>・体験メニューや講師の確保など、自ら提案・実行するようになってきた。来年開催に向けた意欲有り。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆こうち型集落営農組織数 1組織</li> </ul>   |

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<物部川地域>

| 項目名及び事業概要   | 主な課題  | インプット(投入)<br>〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉   |
|---|---|---|
| <p><b>11. 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策</b></p> <p>香美市物部町を中心としたユズは、国内最大の青果出荷(玉出し)ユズの産地であるが、生産者の高齢化などから、生産の維持が困難になっている。<br/>このため農作業受委託などの仕組みづくりを通じて、作業者を確保し産地の維持発展を図る。<br/>また、従来の関東、関西地区への市場出荷に加えて、関東以北などの新たな市場の開拓を行い、新たな需要の掘り起こしと選果場の機能強化による商品開発を行う。<br/>近年、ユズ園での鳥獣害の発生が多くなっており、こうした対策を取り入れた新系統品種の実証ほを設置する。</p> <p>◆ユズ産地の生産対策<br/>・雇用労働システム(モデル)づくり<br/>・鳥獣害対策を取り入れた実証ほの設置</p> <p>◆集・出荷及び販売体制の強化<br/>・集・出荷場の機能強化<br/>・新たなパッケージ等商品開発の推進<br/>・新市場及び流通チャネルの開拓</p> | <p>◆ユズ産地の生産対策<br/>・雇用労働システム(ゆずもり)の活動支援<br/>・青果の安定出荷に向けた技術の検討(黒点病発生防止、腐敗果防止、家庭選果環境の改善)<br/>・樹園地の放任状況の把握</p> <p>◆集・出荷及び販売体制の強化<br/>・搾汁施設の機能強化<br/>・ユズ狩りの実施とオーナー制の検討<br/>・新たなパッケージ等商品開発の推進<br/>・新市場及び流通チャネルの開拓</p> | <p>◆ユズ産地の生産対策<br/>・準備会(2回)、実行支援チーム会(4回)を開催した。</p> <p>・樹園地の放任状況を把握した。<br/>確認した割合:100%</p> <p>◆集・出荷及び販売体制の強化<br/>・「こうち農業確立総合支援事業」を採択してユズ搾汁施設を整備した。<br/>総事業費24,990千円 補助金額7,533千円(完了10/20)</p> <p>・商品の規格の見直しを行った。<br/>・試験的に酢玉を機械選果した</p> <p>・オーナー制を実施した。(オーナー数:14名)<br/>・ユズ狩りツアーを実施した(11/13、参加者数:16名)<br/>・パートナー量販店で販促活動を実施</p> |
| <p><b>12. 香美市ブランド品の確立・特産品づくり</b></p> <p>香美市ブランドの確立、特産品づくりを行うことを通じて、働く場の確保と所得の向上を図る。</p> <p>◆地域特産品の加工・販売の仕組みづくり<br/>◆新たな加工食品の開発・販売<br/>◆シカ肉の活用に向けた取組</p>   | <p>◆地域特産の農産物等の加工を通じて付加価値を高める商品化を行うために必要な取り組み事項<br/>○組織の整備<br/>・商品検討体制<br/>・商品製造体制<br/>・商品販売体制</p> <p>◆原材料等調達システムの構築</p>   | <p>◆高知県ふるさと雇用再生特別基金事業(11,064千円:H21~H23)により、鹿肉特産品開発及び販路拡大のため1名を雇用。</p> <p>◆高知県ふるさと雇用再生特別基金事業(21,100千円:H23)により、地域アンテナショップ(2店)運営のため6名を雇用。</p> <p>◆土佐のいい物・おいしい物発見コンクールへのゆずマーメイド「しおゆず」出品</p>   |
| <p><b>13. 民有林における間伐の推進</b></p> <p>効率的な施業の実現を図るとともに、林業事業体の経営基盤の整備や担い手の育成を図り、素材の増産等に取り組む。</p> <p>◆森の工場の推進<br/>◆林業事業体の育成<br/>◆担い手の育成確保<br/>◆放置林の解消</p>   | <p>◆木材価格の低下に伴い森林所有者、素材加工事業体の事業意欲の低迷<br/>◆事業予定地の山林の所有者、所有界の確定が困難(不在村地主、境界確定対応)<br/>◆集約化計画と森の工場計画等各種計画等との連絡調整<br/>◆作業道及び高性能林業機械の効率的作業システムの構築</p>  | <p>・間伐チーム会を開催した(5/13)<br/>・関係機関を戸別訪問し、集約化計画の周知徹底に努めた。<br/>・新たな森の工場地区座談会を南国市、香南市で開催を行った。<br/>・香南市有林に於いて「協働の森」現地説明会開催(7/4)<br/>・「協働の森」協定者:高知県・香南市・龍馬空港株式会社(10/11締結)<br/>・協定締結後、年内に新たに周辺民有林を含め「森の工場」承認申請予定(市有林面積86ha)<br/>・推進会議開催(県・市他)(10/25)<br/>・第1回森の工場「美良布・岩改・萩野地区」地区座談会の開催(12/9)</p>                                     |
| <p><b>14. 木質バイオマスの活用に向けての取組(需用者開発)</b></p> <p>「香南香美地域新エネルギービジョン」を踏まえて、上流域の豊富な森林資源と下流域に一大園芸地帯が広がる立地条件を活かした「エネルギーの地産地消」によるCO2排出削減と地域振興を念頭に、各種事業を活用して、木質ボイラーの実需者開発を行う。<br/>また、地域の林地残材等を活用した木質燃料の供給基地づくりに向けた検討を行う。</p>  | <p>◆最終的にペレット製造・供給基地を域内に立地するために必要な事項<br/>◆農業分野での具体的な需用者開発<br/>JA受託の採算性確保<br/>当面外部調達の燃料供給体制<br/>燃焼灰の処理<br/>◆「香美・香南新エネルギービジョン」との調整<br/>◆農業分野以外への普及啓発<br/>◆原料の安定供給体制の整備<br/>◆燃料単価差(重油安・ペレット高)を緩和する仕組みづくり</p>        | <p>・支援チーム会の開催(1回)</p> <p>・23年度導入予定4台(南国市)の発注(農業用ボイラー)</p> <p>・共同灰処理の打合せ</p> <p>・安芸市との予算調整</p>   |
| <p><b>15. シイラの加工商材活用</b></p> <p>シイラの加工による浜値の向上と付加価値の増加を通じて、漁業者の所得の向上を図る。</p> <p>◆漁協による入札の参加<br/>◆前処理加工の実施<br/>◆施設整備の実施</p>  | <p>◆加工原魚の確保<br/>◆加工人員の確保<br/>◆衛生管理の強化<br/>◆新規販売先の開拓<br/>◆周年稼働に向けた体制の確立<br/>◆本所と支所の連携強化</p>  | <p>・実行支援チームと支所との協議(随時)<br/>・衛生管理強化に向けた加工場の改修(高知県漁業生産基盤維持向上事業補助金の活用(総事業費1,008万円))<br/>・衛生管理強化に向けた保健所との協議(3回)<br/>・切り子に対する衛生講習会の実施(1回)<br/>・漁業者向け説明会の実施(1回)<br/>・販路開拓に向けた訪問・取引協議等の実施(6社)<br/>・水産加工業交流促進協議会への参加(1回)<br/>・周年稼働に向けた協議(2回)<br/>・地元魚商人との協議(1回)</p>   |
| <p><b>16. 「ごめん」をブランド化 ～トライアングルゾーンの活性化～</b></p> <p>◆「ごめん」というユニークな地名を活かし、人呼び込み、商店街を活性化させる。</p>  | <p>◆地域の方、地元商店街の「やる気」を引き出すことが最も重要であるが、高齢化と連携不足をカバーしていく必要がある。<br/>◆市の方向性の地域を含めた市内全体のコンセンサスづくりが必要<br/>◆ブランド化の仕組みづくり(仕掛ける、メディアを利用する)</p>  | <p>◆緊急雇用特別事業によるエリアマネージャーの設置<br/>◆地産地消ごめん軽トラ市の開催(補助金額 20万円/回)<br/>◆ふるさと雇用再生事業によるシャモを突破口とした中心市街地賑わい創出推進員の雇用継続及びごめんシャモ研究会のごめん町商店街内の事務所開設<br/>◆ごめんまちづくりプロジェクト委員会(事務局:南国市商工会)開催(3回)<br/>◆公益信託こうちNPO地域社会づくりファンド活用(700千円):新ごめんジャー衣装作成</p>  |

| <b>アウトプット(結果)</b><br><b>&lt;インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと&gt;</b>   | <b>アウトカム(成果)</b><br><b>&lt;アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと&gt;</b>   | <b>目標(H23)</b>  |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ユズ産地の生産対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全量機械選果については、JAが主体となって柚子生産部会へ働きかけられることを意識統一した。</li> <li>・作成した地図は、産地維持の基礎資料として柚子生産部会総会(8月)で公開した。放任園は少なく高齢者が何とが現状維持していることが判った。</li> </ul> </li> <li>◆集・出荷及び販売体制の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理面に優れる搾汁施設に改修することができた。</li> </ul> </li> <li>・平箱B品、貯蔵B品、冬至用機械選果によってより出された冬至A品を袋詰めした商品を開発した。</li> <li>・冬至B品及び機械選果による青果販売可能な酢玉を、ユズ風呂用として不織布へ2〜3玉を入れた商品を開発した。</li> <li>・酢玉を機械選果したところ、生産者によっては青果で販売可能なものが約30%含まれることが判った。</li> <li>・産地を認知してもらうことができた。</li> <li>・パイヤーによるユズ狩りを体験(11/24)、生産者による東急大森店での試食宣伝を実施(12/21,22)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ユズ産地の生産対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23園芸年度のユズ販売額:4.3億円</li> <li>・所有者や園地の斜度等、高齢化して栽培が困難となった場合の対応策に重要な情報を蓄積することができた。</li> </ul> </li> <li>◆集・出荷及び販売体制の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに開発した商品(袋入り)は、東急ストアのパイヤーに好評で、来年の出荷増を要請された。</li> </ul> </li> </ul> | ヌズ販売額<br>5.1億円<br><br>新たな商品開発<br>2品目  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆鹿ソーセージを中心にしたイベントでの実演販売:16回</li> <li>◆地域アンテナショップ「ふらっと中町」「龍河荘ぐる里」のオープン</li> <li>◆土佐のいい物・おいしい物発見コンクールでゆずマーレード「しおゆず」が優秀賞を受賞。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆土佐の食1グランプリin長宗我部フェスでのシカドッグ優勝</li> <li>◆土佐の食1グランプリin長宗我部フェスでの優勝を機に、多くのマスコミがシカドッグを取り上げるなど、鹿肉の加工品が注目を集めている。また、販路も徐々に拡大しており、需要も伸びてきている。</li> </ul>   | 開発加工製品サンプル数(H21新規) 10品目<br>商品化製品数(H21新規) 10品目   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「協働の森」締結に伴い、今後の「森の工場」への移行に際し協定締結者(香南市・龍馬空港株式会社)の森林への関心が高まった。</li> <li>・森の工場「美良布・岩改・萩野地区」地区座談会の開催に伴い、これまで森林整備への関心が薄かった地元山林所有者から森の工場推進への賛同が得られた。</li> </ul>  |  | 整備済「森の工場」面積<br>8,400ha  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・需用者である農家への支援やペレット供給体制づくりについて今後検討していくこととなった</li> <li>・導入予定台数17台の発注がすべて完了した(農業用ボイラ)</li> <li>・3市4JAの垣根を越えた共同灰処理(協定等)が実現</li> <li>・最終1台(20万kcal/h:温湯)を追加発注 GN計18台となる</li> </ul>   |  | ペレット利用量 1230t/年   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理強化に向けた加工場の改修工事完了</li> <li>・施設の衛生管理の向上(施設監視の点数アップ 87点→92点)</li> <li>・県内水産加工業者1社と取引開始</li> <li>・加工作業従事者8人をパート雇用</li> <li>・原魚加工量:約49t</li> <li>・加工事業売上:約670万円</li> <li>・県内学校給食への販売開始(4市町村)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の雇用確保</li> <li>・浜値の底上げ(支所が最低価格30円/kgで買い支え)の維持</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆加工原料として漁協のシイラ販売額<br/>1,500万円</li> </ul>             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地産地消ごめん軽トラ市開催(6/5,11/6)</li> <li>◆「ごめん」応援隊(チーム・ゴメンジャー)結成(11名)</li> <li>◆チーム・ゴメンジャー衣装完成</li> <li>◆ごめんマルシェ開設(高知農業高校アンテナショップとしてスタート)(8/24、9/14,11/6,11/6,12/14)</li> <li>◆アンパンマンドレスアップイベント(12/11)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地産地消ごめん軽トラ市の開催エリアがごめん東町区間にまで広がり、3年目にしてごめん町商店街の全域で市を開けるようになった。</li> <li>・1回目(6/5) 天気:雨 出展者:24台 来場:1500名</li> <li>・2回目(11/6) 天気:曇り 出展者:20台 来場:2500名</li> <li>◆ごめんマルシェ来店者 6/5 100人、7/13 38人、8/10 55人、8/24 39人、9/14 60人、11/6 200人、12/14 56人</li> <li>◆アンパンマンドレスアップイベント来場者 1500人</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽トラ市の定期的な開催 3回/年</li> <li>・ごめん応援団の設立 1組織</li> </ul> |

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<物部川地域>

| 項目名及び事業概要  | 主な課題   | インプット(投入)<br><講じた手立てが数量的に見える形で示すこと>  |
|--|--|--|
| <p><b>17. 香南市コミュニティガイド事業</b></p> <p>自衛隊移転に伴う新たな住民の一大流入を契機に、商店・飲食店・サービス店等において、地域に滞在するうえで欠かせない生活情報を提供することにより、大型量販店等との差別化を図り、活力ある商店街づくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆勉強会の開催</li> <li>◆消費者への告知ツールの開発等</li> <li>◆参加型コミュニティイベントの開催</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆効果的な情報提供</li> <li>◆ニーズにあった情報提供</li> <li>◆利用促進のための啓発</li> <li>◆店舗等の協体制の構築</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ガイドブック、イベントの効果検証</li> <li>◆高知県こうち商業振興支援事業(1,000千円)申請(8/24)→交付決定(9/1)</li> <li>◆香南市こうち商業振興支援事業(1,000千円)申請(7/13)→交付決定(7/26)</li> <li>◆香南百貨店委員会「ガイドブック部会」(3回)</li> <li>◆香南百貨店委員会「おひろめ市部会」(3回)</li> </ul>  |
| <p><b>18. 地場産業(土佐打刃物、フラブ)の振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆海外での展開も視野に入れた新商品の開発や販路の開拓のほか、昔ながらの技術や文化の継承を図るため、次世代を担う後継者の育成にも取り組む。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆伝統的技術産業であるがゆえの一般市場での浸透の困難さをいかに克服するか</li> <li>・工芸品としての魅力のPR</li> <li>・技術の応用による新商品の開発</li> <li>・一般消費者との接点の工夫</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆鍛造体験スキームの検討(龍河荘ぐる里)</li> <li>◆工科大商品開発サークルの土佐打刃物新商品開発結果報告会の実施</li> <li>◆工科大商品開発サークルによる合格祈願お守り商品のプレゼンテーション</li> <li>◆土佐打刃物後継者育成対応策検討会(3回)</li> <li>◆東京新聞旅行募集による香美市体験モニターツアーにてフラブ染体験を試行(11/12)</li> </ul>   |
| <p><b>19. 観光交流のネットワークづくり(観光推進体制の確立強化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆交通の要衝という恵まれた立地環境を活かし、地域内の観光資源をつなぎ、外に売り出していくための体制整備を図る</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光協会の体制整備(行政からの独立)を計画的に行う必要がある。</li> <li>◆観光基本計画の具現化(体験学習コースのブラッシュアップ等)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆厚生労働省の地域雇用創造推進事業(85,507千円:H21~H23)の継続</li> <li>◆ふるさと雇用再生事業(29,348千円:H21~H23)による企画コーディネーター育成の継続</li> <li>◆長宗我部フェス(市単)(1,000千円:H23年度)</li> <li>◆GWIにおけるウェルカムサービスの実施(道の駅、龍馬空港)</li> <li>◆観光基本計画(案)の周知と意見募集</li> <li>◆ふるさと雇用再生事業(6,313千円:H22~H23)による観光推進員設置</li> <li>◆緊急雇用特別基金事業(3,874千円:H22~H23)によるホテルフロントへの観光コンシェルジュ設置</li> </ul>                    |
| <p><b>20. 歴史的資源を活用した地域活性化への取組 ~土佐のまほろば~</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域が誇る歴史的な資源を活用し、「語り部」の育成などに取組み、関係者が一つになって交流人口の拡大による地域活性化につなげていくために取り組んでいく。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光ボランティアガイドの組織化</li> <li>◆観光ボランティアガイド組織の窓口機能の確立(PR体制)</li> <li>◆観光ボランティアガイドを有償とするための仕組みづくり</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域雇用創造推進事業(85,507千円:H21~H23)を活用した観光ガイドボランティア養成講座の継続</li> <li>◆ふるさと雇用再生事業(29,348千円:H21~H23)を活用した企画コーディネーターによる食1グランプリ等の企画提案の継続</li> <li>◆長宗我部フェス・長宗我部元親ラリー及びイベント支援補助金(市単)(1,000千円:H23年度)</li> <li>◆ふるさと雇用再生事業(6,313千円:H22~H23)による観光ボランティアガイド組織推進事務局員設置(西島園芸団地)</li> </ul>  |
| <p><b>21. 体験観光型メニューの滞在型旅行商品化アクションプラン</b></p> <p>市内各地でいくつかの体験メニューの開発・実施が進みつつあるが、実施主体ごとに個別のPR等を行っている段階であるため、一元的に情報管理、発信を行うなど、観光商品化に向けて機能強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体験メニューのブラッシュアップ</li> <li>◆旅行商品化に必要な観光情報の一元把握</li> <li>◆旅行商品企画の造成</li> <li>◆地域の観光情報の発信</li> <li>◆商店街のクレジットカードの利用環境の整備</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆香南市、香南市観光協会、高知県観光コンベンション協会の連携及び役割分担の明確化</li> <li>◆物部川地域観光振興協議会3市が連携した旅行商品の開発</li> <li>◆香南市観光協会の旅行業第3種登録による旅行商品の企画・販売体制の確立</li> <li>◆香南市観光協会におけるふるさと雇用事業終了(H23末)後の体制づくり</li> <li>◆ガイド組織の整備</li> <li>◆地域産品・加工品の旅行企画への活用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ふるさと雇用(2人)</li> <li>◆物部川地域観光振興協議会で3市による広域観光について協議</li> </ul>   |
| <p><b>22. 観光交流の受け皿づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光情報の一元化と観光ネットワークの強化を通じて、香美市を滞在型・体験型観光のフィールドとし、地域の所得の向上と雇用の創出を図る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆拠点を結ぶルートの整備</li> <li>◆食事、土産物等関連事業の整備と発掘</li> <li>◆体験を含む新たなニーズに合ったシーズの発掘</li> <li>◆ガイド等人材の育成と発掘</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆高知県ふるさと雇用再生特別基金事業(21,100千円:H23)により、地域アンテナショップ(2店)運営のため6名を雇用。</li> <li>◆龍河洞80周年記念事業の実施</li> <li>・シンポジウム(6/11) ・アドベンチャーウォーキング(6/12)</li> <li>・龍河洞まつり(8/27) ・クリスマスキャンドルナイト(12/24)</li> <li>◆観光インストラクター養成講座の開催(全9回)</li> <li>◆べふ峡温泉にて宿泊施設の研修会実施(7/11)</li> <li>◆東京新聞旅行募集による香美市体験モニターツアーの実施(11/11~13)</li> <li>◆旅行業専門家研修の実施(全4回 11/17~11/28)</li> </ul> |



| アウトプット(結果)<br>＜インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと＞   | アウトカム(成果)<br>＜アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと＞   | 目標(H23)  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ガイドブックについて、香南市への転入者が来店するきっかけとなっていることが分かった。また、イベント(おひろめ市)に関する消費者ニーズや効果的な告知方法についても把握できた。</li> <li>◆新たな「ガイドブック」の作成</li> <li>◆第2回「おひろめ市」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日: 11/12、開催場所: 天然色劇場</li> <li>・来場者: 約1,200人</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ガイドブックへの掲載を希望する店舗が増加。また、「第2回おひろめ市」でのアンケート調査では「天然色劇場の環境が良く、開放的で満足できた」との意見が多く、好評を得た。</li> <li>・ガイドブック掲載希望店舗175店 うち、商工会新規加盟店20店(H23年12月末現在)</li> <li>・おひろめ市参加店舗59店 うち商工会新規加盟店3店(H23年12月末現在)</li> </ul>  | <p>香南市商工会加盟店の増加<br/>650</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆鍛造体験が商品として完成(龍河荘ぐる里)</li> <li>◆モニターツアーにてフラワ染体験の試行(参加者23名 ハチロー染工場)</li> </ul>   |  | <p>土佐打刃物製造業後継者育成にかかる事業計画: 1件</p>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆長宗我部フェス、土佐の食1グランプリ同時開催(5/21)</li> <li>◆観光基本計画の策定(6/1)</li> <li>◆長宗我部ラリー2の開催(9/17～H24.1.15)</li> <li>◆つらゆき時代まつりシャモ料理フェア(11/3)</li> <li>◆つらゆき時代まつり(11/4～11/6)</li> <li>◆観光協会HP開設(12/1～)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆長宗我部フェス、土佐の食1グランプリ(出店数:24店舗、集客数:6,000人)</li> <li>◆観光協会総会における観光協会の行政からの独立承認(6/6)</li> <li>◆長宗我部元親ラリー2の応募者(568人)＜9/17～12/28迄＞</li> <li>◆つらゆき時代まつりシャモ料理フェア来場者(1000人)</li> <li>◆つらゆき時代まつり来場者(3000人)</li> <li>◆HPアクセス数(143人＜12/1～12/28＞)</li> </ul>   | <p>観光ネットワークへの参加団体数 50団体<br/>観光コーディネート組織の確立 1組織<br/>観光基本計画の作成 1</p>                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆さくらまつりウォーキング開催(4/3)</li> <li>◆南国市観光ボランティアガイド組織「南国市観光案内人の会」設立(6/10)</li> <li>◆観光ボランティアガイド実践(5/21、6/5、7/3、10/15、11/5、11/6、11/13)</li> <li>◆岡豊山歴史ウォーク開催(9/23)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆さくらまつりウォーキング参加者: 50人</li> <li>◆観光ボランティアガイド実践参加者: 124人(5/21 30人、6/5 10人、7/3 4人、10/15 22人、11/5 28人、11/6 12人、11/13 18人)</li> <li>◆岡豊山歴史ウォーク参加者: 16人</li> </ul>  | <p>観光ボランティアガイド組織の設立: 1組織</p>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆香南市観光協会(旅行業第3種登録)による旅行商品の販売</li> <li>・香南市内の観光名所のウォーキング(5月、6月、7月の計3回)</li> <li>・土佐塩の道ウォーキング(10月2回、11月1回の計3回)</li> <li>◆香南案内人会の設立(12人)</li> <li>◆YASU海の駅クラブでの初の修学旅行の受入れ</li> <li>・シーカヤック・シュノーケリングを実施。</li> <li>◆県外進学塾の体験観光ツアーの受入れ</li> <li>◆旅行エージェントへのPR</li> <li>◆香南市観光協会による創作体験(新聞バッグ教室)の実施(8月1回、11月1回の計2回)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆物部川3市による観光の広域連携への取り組みが始まる。</li> <li>◆ウォーキング参加者実績: 計131人(5月20人、6月34人、7月24人、10月2回44人、11月9人)</li> <li>◆観光協会のウォーキングで案内人によるガイド: 計19人(5月4人、6月4人、7月7人、10月2人、11月2人)</li> <li>◆修学旅行(大阪府中学校): 35人</li> <li>◆県外進学塾の体験観光: 43人</li> <li>◆旅行エージェントへのPR(7月1回: 8社(東京・大阪・名古屋・福岡)、11月1回3社(東京))</li> <li>◆新聞バッグ教室参加者: 100人</li> </ul> | <p>商品作成数(日帰り、1泊2日、2泊3日×3ターゲット)<br/>: 10タイプ以上<br/>年間プロモーション活動<br/>県外(主に東京・大阪): 年間6回以上</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域アンテナショップ「ふらっと中町」「龍河荘ぐる里」のオープン</li> <li>◆地域アンテナショップ(龍河荘ぐる里)からの情報発信等</li> <li>・体験メニュー第1弾「手づくりちょうちんで暗やみ体験」受付開始。</li> <li>・「新たな体験メニュー作り込み研修」を経て土佐打刃物鍛造体験を商品化</li> <li>◆龍河洞80周年記念事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム(参加者約90名)・アドベンチャーウォーキング(同7名)</li> <li>・龍河洞まつり(暗やみ体験参加者352名)</li> <li>・クリスマスキャンドルナイト(入洞者数約1600名)</li> </ul> </li> <li>◆観光インストラクター養成講座(全9回実施、参加者のべ266名)</li> <li>◆べふ峡温泉にて宿泊施設の研修会実施(参加者約30名)</li> <li>◆東京新聞旅行募集による香美市体験モニターツアーの実施(参加者23名)</li> <li>◆旅行業専門家研修の実施(全4回実施 参加者のべ48名)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆べふ峡温泉にて行った藤澤・県観光アドバイザーの研修会を受け、同温泉で様々な体験メニューが開発された(ウェイブスキー、夜の動物ウォッチング、虫取り)。</li> </ul>  | <p>観光コーディネート等を行う組織: 1組織</p>  |